

図書館だより

宮城県
仙台三桜高等学校
No.5 司書版
2019.07.23

小論文の季節がやってきた

～コーナーを設置～

推薦、AO入試の指導が始まりました。この季節のなると「私は何をを読んだらいいんでしょうか?」という質問が多く寄せられます。

小論文上達の柱は2本。「型を学ぶこと」と「知識を蓄えること」です。

「知識を蓄える」ために読む本は、「小説」とは異なる形式で書かれているため、最初は戸惑うかもしれません。最初は読むのに時間がかかりますが、すぐに慣れます。夏休みは、よい機会です。挑戦してみましょう。

本は各1冊ずつしかありません。ニーズの高い本は早い者勝ちとなります。

小論文上達の2本の柱

1 書き方をマスターする。(型を学ぶ)

①先生の指導のもと、何度も書く。

②参考書でテクニックを学ぶ。

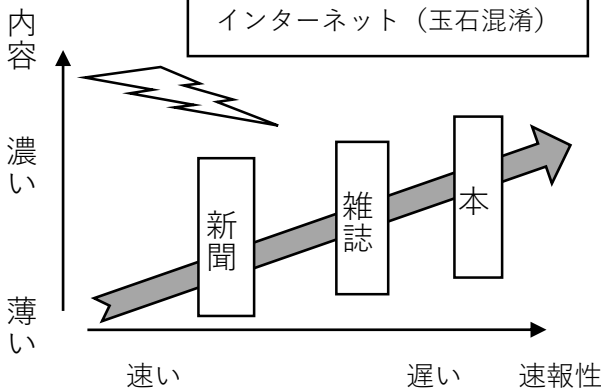
③上手な小論文を読む。

2 情報をインプットする。(知識を蓄える)

①TVやラジオのニュース番組を視聴する。

②新聞を読む。**三桜図書館には4紙あります**(ニュースだけでなく投書、オピニオン、ニュース解説も読む。)夏休みとその前(5～7月)の新聞記事が出題される傾向アリ。(蛍雪時代より)

③本(新書や時事問題関係)を読む。



異なる種類の媒体から情報を得る。ネット利用も可。しかし、ネットオンリーは危険。

※ネットの長所

- ・速報性がある。
- ・ピンポイントで見つけられる。
- ・いつでも、どこでも利用可能。

※ネットの短所

- ・玉石混淆。(クオリティに差がある。)
- ・前に検索した記事に類似した記事が上位に表示されるため、偏った情報ばかり目につくかも。
- ・ピンポイントで見れる便利さがあるが、その他の情報が得られにくい。

【参考文献】

- 1 まるまる使える推薦入試小論文・作文 改訂版 樋口裕一著 桐原書店 2010
- 2 テストの花道 河出書房新社 2011
- 3 蛍雪時代 2019.6月号 旺文社

新書を読もう

新書の特徴

形態：原則として縦約18cmでソフトカバー

著者：専門家またはその分野に詳しい人

対象読者：一般人（専門的知識を持たない人）

※岩波ジュニア新書，ちくまプリマー新書は中学生ぐらいから読める。

内容：学術的，論理的，評論的，報道的，または旬の話題

- ① 1テーマを深く掘り下げて書いてある場合が多い。
- ② データ，表，グラフを活用し，理論的に構成してある場合が多い。
- ③ フィールドワークや調査をして書いてある場合が多い。

新書を読む

本を選ぶ

【図書館で借りる場合】
分野で選ぶ
※ラベルを見る

【購入する場合】
タイトル，著者，帯で選ぶ

本のカバーの短い内容紹介を読む

序文（はじめに）を読む

- ① テーマ
- ② 書くきっかけ
- ③ 取材（調査）方法・実験・関心事項
- ④ まとめ方

目次を見る

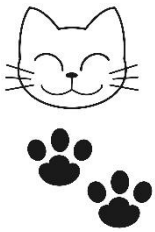
本文を読む

結論を読む

参考文献を見る

次の本へ

必要としている内容でない場合には次の本を探す。



新聞・雑誌・ネットの「書評」も読む本を選ぶ参考になります。

読んだ本の主題をつかむ方法

1 「キーワード」は何か？

→何度も出て来る言葉や似たような意味の言葉をチェックする。

2 内容を「友だちに説明する」つもりで読む。

→アウトプットを意識する。

読むのがツラくなったら
「目次」をみる。
次の展開がわかると，気持ち
がラクになる。

《深く知りたくなったら》
① 「参考文献」の本を読む。
② 同じ著者の本を読む。
③ 反対意見の本を読む。
⇒理解が深まる。

問題意識をもって読もう。
「小論文ネタノート」を作ると良い。